

会 議 録

会 議 名 称	登米市総合計画審議会 第2回つくる分科会
開 催 日 時	平成26年12月25日(木) 午後1時00分開会 午後1時50分閉会
開 催 場 所	登米市迫公民館 大会議室
議長(座長)の氏名	阿部泰彦 委員(一般社団法人 登米市観光物産協会会長)
出席者(委員)の氏名	阿部泰彦 委員(一般社団法人 登米市観光物産協会会長) 今野秀俊 委員(登米地域商工会連絡協議会会長)【遅参】 芳賀 稔 委員(宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部長) 佐々木修 委員(みやぎ登米農業協同組合総務部長) 以上4人
欠席者(委員)の氏名	なし
事務局職員職氏名	(説明員) 登米市総合計画策定連絡調整会議つくる部門会議 副部門長 産業経済部参事兼農林政策課長 岩淵俊明 登米市総合計画ワーキンググループつくる部会 部会長 産業経済部農林政策課 課長補佐(総合調整担当) 三浦洋一 (事務局) 企画部企画政策課 課長補佐兼企画政策係長 新田公和 企画部企画政策課 主事 金澤健治 以上4人
議 題	【協議事項】 (1) 第二次登米市総合計画基本計画(案)について
会 議 結 果	別紙のとおり
会 議 経 過	別添のとおり

会議資料	■資料2 第二次登米市総合計画基本計画（案）
発言者	議題・発言・結果
座長	○前はJAの佐々木委員が欠席だったので、市の基幹産業である農業について改めて議論したうえで、全体会議へ報告したいと考え、本日分科会を開催することとなった。 47ページの個別政策13 農業の振興の現況と課題について、佐々木委員から意見をいただいたうえで、皆さんから再度意見をいただきたい。
委員	○基本的には事務局資料のとおりだが、現場に行くと感じるのは、農業者は土地への執着が大分ある。農地集積はまだ早く、現状維持を希望している農家が多い。また、担い手問題もある。 多様な農業規模にあった施設・倉庫等の管理が、JAとして限界に近づいている。市とJAの連携が不可欠になる。
委員	○JAは農業政策の要である。もう少し、JAからの発信力・指導力がほしい。生産の指導についても、JAが関与しなくなっている。農業が林業の二の舞になってほしくない。 働く場所が限られている中で、国の情勢を踏まえ、荒波にも耐えられるJAの独自政策を進めてほしい。
委員	○JAでは、職員を地元勤務に戻すか、戻せない場合は担当制にし、集落毎に2名ずつ配置し、集落の意向を把握し推進していく体制づくりを実行に移し始めている。しかし、農家では現状維持を望む方が多い。
委員	○市とJAの意見交換をもっと増やしてほしい。
説明員	○現場部門については、市よりJAの方が専門知識はあるため、JAの情報を市でも共有できるよう、情報交換を更にしていきたい。
委員	○JAという巨大な組織があるから、農家は安心・安全に農業へ取り組んでいける。その気持ちを持ち、積極的に事業を推進してほしい。
委員	○有機米（環境保全米）の認知度がまだ弱い。一般米との価格差が少ないのが要因の一つではないか。
委員	○有機米（環境保全米）は地元で流出していないのが認知度の低い要因にもなっている。最近では米の質より量で求める方が多い。また、量についても多く望まない方も多い。
説明員	○市では、米以外にも首都圏で売れる物も探している。
座長	○米価下落に対し、市はどのような対策を考えているのか。
説明員	○農業分野はもちろんだが、林業分野や商業分野、観光分野も含め、市の活性化に繋がるものとして、新年度予算へ様々な事業を要求している。

座長	○先ほど J A から、農業規模にあった施設・倉庫等の管理について、市と連携していきたいとの話があったが、そちらについての市の考えはどうか。
説明員	○合併前の旧町から持ち込んだ市管理の農業関連施設が多数あるが、その多くが指定管理者制度に移行し、J A へ管理をお願いしている。市としては、有償か無償かは未定だが、J A へ施設をお渡しできればと考えている。しかし、受け側としては施設への職員の配置等、諸問題があるため、施設の統廃合も含め、今後検討が必要と考えている。
委員	○ある程度の施設は、J A しか受け手がないと考えている。 なお、政府が規制改革会議の答申を踏まえ、規制改革実施計画のとおり断行すると、J A のスタイルが全く変わってくる。現在実施している事業が、今後どの範囲まで実行できるのか不透明であり、政府の方針を注視していく必要がある。
座長	○先日、ある大学の学生が農業の体験学習へ来たが、今の農業の流れについては全く分かっていなかった。昔の泥まみれになって作業しているイメージを若者は持っている。現在は農業も会社と同じように組織で運営していることを分かれば、更に関心を持つと思う。実際に体験した学生は、「こんなに楽しいものだと思わなかった」と話している。
委員	○農家の方も、自分の子どもや孫に対して、農業についてきちんと教える必要がある。
座長	○それでは以上の意見を踏まえ、今から開催される全体会議へ報告する。本日の分科会は、以上で閉会とする。